



とよ た かい どう 豊田ほたる街道

◆活動団体

団体名：檜原ゆうあい会

連絡先：TEL083-766-1397

メール：sbtt88@ybb.ne.jp

URL：

◆活動内容

再生・維持から創造へ。室町時代、大内氏が大陸貿易のために拓いた肥中街道を復元・維持し、活用しています。街道沿いの自然と歴史を生かして「学びの郷」づくりを進め、新しいものを生み出す「創造」を目指した活動を展開しています。

街道の活用では、4月に梨の花ウオーク歴史コース、12月に山城と街道をめぐる歴史探訪会を定期開催します。肥中街道の両端、山口市から日本海側の肥中浦までを結ぶ肥中街道連絡協議会が発足しました。街道とその周辺の文化財の維持や地図の作成など情報交換・発信を行います。

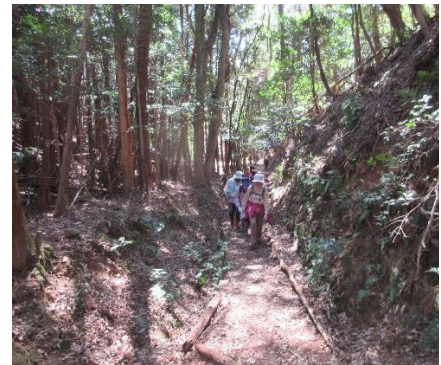
花のまちづくりでは、街道沿い総延長2000mに花を植えています。全国花のまちづくりコンクール農林水産大臣賞受賞の誇りを持って、QRコードつき樹木名板を設置するなど活動の向上に努めています。

学びの取り組みでは、街道沿いの里山や川を活用して児童の樹木観察、水辺の観察、藍染め体験学習を実施しています。大学生の夏期研修の受入れ、中秋の名月を観る観月会、親子茶道教室の発表会、郷土史の公開講座、まちづくり研修団体や歴史探訪会の受け入れで交流人口・関係人口が著しく増加しました。

令和5年度



街道整備。毎年3月の第一日曜日を「肥中街道整備の日」と決め、地元の人や各地から参加したボランティアの皆さんと維持作業を続けています。



梨の花ウオーク歴史コース開催。毎年4月の第2土曜日。多く人が歴史街道を歩き、花と歴史を楽しみます。



花のまちづくり。歴史街道沿いを中心に会員が育てた花苗を自治会の皆さんと植えます。中山間地の地域づくり活動のモデルです。



活動紹介とワークショップ。地域づくり活動や歴史街道など地域の様子を写真で紹介。学びの森の木を活用して作品を作ります。



樹木観察と木工。夏休みには多くの児童が檜原で学びます。肥中街道沿いの学びの森と妙栄寺が学びの場所になります。まさに創造の場所です。



水辺の観察。肥中街道沿いの川が学習の場になります。児童は転んだと言って水遊びを始め歓声が広がります。



藍染体験。肥中街道沿いの耕作放棄地で栽培した藍を用いて、会員が児童に藍染を毎年指導しています。地域資源が学びに生かされる好例です。



妙栄寺での活動。毎年11月には郷土史公開講座や親子茶道教室の発表会を開催します。お寺は地域の学習センターです。



諏訪山城と肥中街道探訪会。
12月の第一日曜日に毎年開催します。子供の参加も可能です。



QRコードつき樹木名板設置。
歴史街道の散策中に樹木の名前が分かる楽しさが増えました。